

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、国立国際医療研究センター病院国際感染症センター・研究所では、以前に「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の前向き観察研究」「COVID-19回復者血漿の採取と抗体価・活性に関する研究」および「DiseaseXに備えた新興・再興感染症の前向き観察研究(X-pro)」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この**新たな研究課題**の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して**欲しくない**」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 新型コロナウイルス感染症および新興・再興感染症に対する宿主免疫応答能に関する後ろ向き研究

[研究対象者]

2020年以降に開始された「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の前向き観察研究」「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の前向き観察研究」および「DiseaseXに備えた新興・再興感染症の前向き観察研究(X-pro)」への協力にご同意いただいている方

[利用している検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：血漿、血清、リンパ球、鼻咽頭スワブ（うち、残余があるものに限る。）

臨床研究で採取した検体および診療で検査を行った後に余ったものを利用します。

診療情報等：年齢、性別、発症日、検査日、入院日、既往歴、併存疾患名、治療薬、ワクチン接種歴などカルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

COVID-19および当該感染症の原因病原体に対する免疫応答について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2027年3月31日までの間（予定）

[利益相反について] 研究全体および研究者個人としての利益相反はありません。利益相反の状況は、研究代表機関においてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 研究所長 満屋 裕明

研究内容の問い合わせ担当者：国立国際医療研究センター研究所

難治性ウイルス感染症研究部 高松 悠樹

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）